立命館大学
国際平和ミュージアム
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

2016 年度前期

国際平和ミュージアム NGO ワークショップ

良心の囚人を救うために私たちにできること

～アジア地域、発展の陰で苦しむ人々～

みなさんは良心の囚人とはどのような人々か知っていますか？
現在、私たちの暮らすアジア地域では様々な人権問題があります。それらの解決のために私たちができることを考える機会にしましょう。

〈講師〉　佐野（さの） 陽子（ようこ）さん

公益社団法人 アムネスティ・インターナショナル日本 会員

天安門事件をきっかけにアムネスティを知り、1990 年入会。以降は主にキャンペーンチームとして大阪で活動している。関心のあるテーマは子ども兵士や経済活動に伴う人権侵害。

日時：２０１６年６月２１日(火)　１６：２０～１７：５０

場所：立命館大学国際平和ミュージアム　２階会議室
定員：先着３０名（大学生・大学院生）
申込み：立命館大学国際平和ミュージアムまでご連絡ください！
TEL：075-465-8151
電話受付時間：9：30～17：00（月曜休館日を除く）
＊参加費無料！当日参加可！！

当日のスケジュール予定

① アジアの人権問題について知る（20分）
② 一人一人が発言するワークショップ（30分）
③ 手紙書き、労働キャンペーン（４０分）

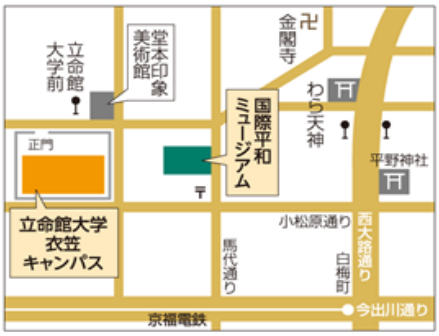
鉱石の選別をする子供たち
（アムネスティ HP より）

〈アムネスティ・インターナショナルとは〉

AMNESTY INTERNATIONAL

公益社団法人 アムネスティ・インターナショナルは、1961 年に発足した世界最大の国際人権 NGO。市民の自発的な行動による人権状況の改善へのさまざまな取り組みが認められ、1977 年にはノーベル平和賞を受賞。日本支部は 1970 年設立。

http://www.amnesty.or.jp/



ワークショップの内容についての質問はメールで受け付けます！

問合せ：下村はず希

主催：立命館大学国際平和ミュージアム
企画：立命館大学国際平和ミュージアム学生スタッフ
下村はず希・岸川あゆみ・友野考佑
右田桃・山口美起

企画スタッフのコメント

みなさんはテレビのニュースなどでビルマの囚人について見たことがありますか？私たちは今話題になっているビルマを始め、アジアにおける人権問題についてのワークショップを開催します！暴力をしていないのになぜ囚人にならなければならなかったのか、またその人たちのために私たちにできることは何かを一緒に考えましょう！（法学部２回生　下村はず希）

人々が安心して平和に暮らせる毎日。そんな当たり前の日常のために闘っている人がいます。そのために、自分自身の幸せな暮らしを奪われることがあります。ときには命がけになることもあります。それでも声を上げ続けるのはなぜでしょう。何が平和な暮らしを妨げているのでしょうか。私たちも疑問を持つことから、始めてゆきましょう。

（文学部３回生　岸川あゆみ）

みなさんは良心の囚人の存在を知っていますか？今世紀になっても未だ解決されない人権問題であり、また釈放された方達は決して遠い過去の話ではありません。アジアにおける良心の囚人の歴史背景やその擁護活動を学び、捕らえられた方々の釈放のために私たちができることを一緒に考えましょう。（文学部３回生　右田桃）

みなさん、“良心の囚人”という言葉から何を連想しますか？今回の NGO ワークショップでは”良心の囚人”をキーワードにアジア地域における人権問題を考えます。暴力を使っていないにもかかわらず政治的・思想的な理由で逮捕され、人権を侵害された人々がいます。彼らの存在が明るみに出ることはありません。しかし、私たち大学生にもできることがあります。興味のある方はぜひお越しください。

（国際関係学部３回生　山口美起）

自由に物事を考え、自分の意見を持ち、それを言葉で表現できるということは、自立した個人の生活に不可欠な要素であり、私たちの日常生活ではほぼ当たり前のこととして保障されています。しかし良心の囚人とは、その「当たり前」のことが理由で監獄に入れられてしまった人々のことです。彼らを救うために私たちに何ができるのでしょうか。一緒に考えましょう。　（法学部３回生　友野考佑）